

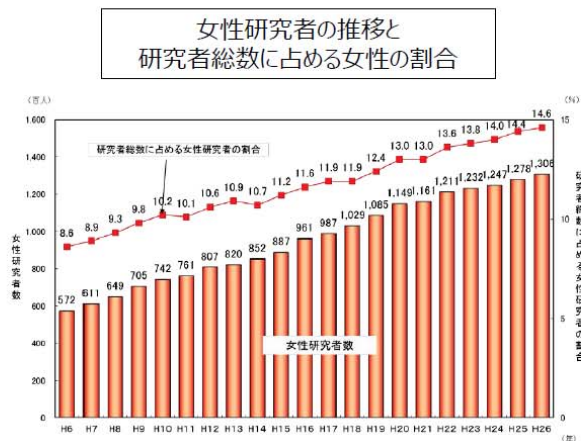
参考資料
目次

1. 参考データ	8
女性研究者の動向（推移と国際比較）	8
女性教員の採用割合と博士課程（後期）の女性比率（分野別）	8
自然科学系を専攻する女子学生の状況	9
SSH指定校の理系学部進学率	9
女子学生が理系の進路を選択した理由	10
女性研究者の所属組織	10
博士課程卒業者・大学教員の女性割合	11
2. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の概要	12
3. 事例紹介	13
（1）ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 各大学の実践	13
（2）女性研究者養成システム改革加速事業 各大学の実践	14
（3）理工チャレンジ	15
（4）マサチューセッツ工科大学（MIT）における内部改革	16
4. 「科学技術イノベーションにおける女性の活躍の促進に向けた検討会」 について	17

1. 参考データ

女性研究者の動向（推移と国際比較）

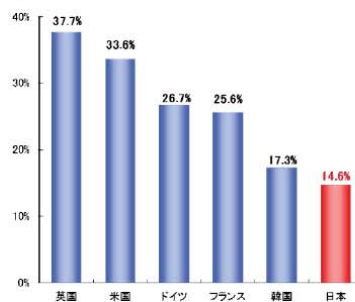
女性研究者数は、年々増加傾向にあり、平成26年時点で研究者全体に占める割合が14.6%となっている。しかしながら、諸外国と比較すると割合は低い。



出典：総務省統計局「科学技術研究調査」を基に文部科学省作成

※研究者
大学（短期大学を除く。）の課程を修了した者（又はこれと同等以上の専門的知識を有する者）で、特定の研究テーマをもって研究を行っている者をいう。

女性研究者割合の各国比較

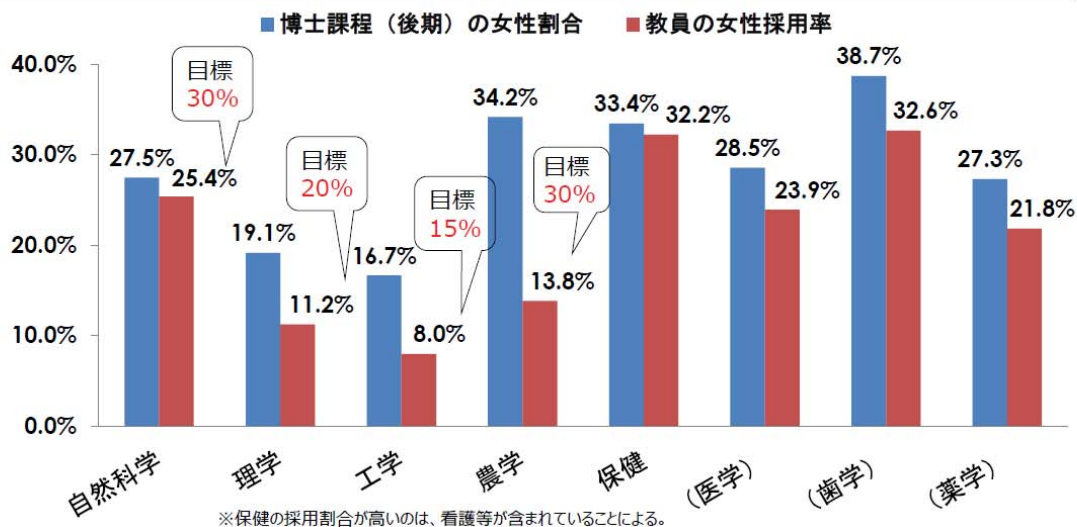


注1:米国は2010年（平成22年）時点、英国、ドイツ、フランスは2011年（平成23年）時点、韓国は2012年（平成24年）時点、日本は2014年（平成26年）時点のデータ
注2:米国については、研究者ではなく、科学専門職（科学工学の学士レベル以上を保有し、科学に関する専門的職業に従事している者。ただし、科学には社会科学を含む）を対象としている。

出典：総務省「科学技術研究調査報告」、OECD“Main Science and Technology Indicators”、NSF “Science and Engineering Indicators 2014”を基に文部科学省作成

女性教員の採用割合と博士課程（後期）の女性比率（分野別）

○女性教員の採用割合は、工学系において低い。（第4期科学技術基本計画において、女性研究者の採用割合は、「自然科学系全体としては25%（理学系20%、工学系15%、農学系30%、保健系30%）を早期に達成するとともに、更に30%まで高めることを目指す」と記載。）



出典：博士課程（後期）の女性比率 学校基本調査（文部科学省 平成26年度）
女性教員の割合 文部科学省調べ（平成24年度）